Crown YUTAKA
e-regulator
for industrial pressure controls
株式会社ユタカ
http://www.yutaka-crown.com
圧力調整器・流量計・ガス供給装置

日溶協ニュース

一般社団法人日本溶接協会
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町4-20
溶接会館
電話：03-5823-6322

2県溶協で競技会表彰式開く

田中・吉永選手が優勝

山梨県鉄構溶接協会

山梨県鉄構溶接協会（清水一彦会長）は9月6日、甲府市の県鉄構会館で「2019年度第52回山梨県溶接技術競技大会表彰式」を開催し、被覆アーク溶接の部で優勝した田中正文選手（飯田鉄工）と炭酸ガスアーク溶接の部で優勝した吉永光一郎選手（同）に産報出版賞として賞状と盾が授与された。

清水会長は「今大会では、昨年よりも出場選手が増加し、溶接に関する各企業の認識が高まったといえるのではないか。我々は、溶接を売り物としており、溶接部位が壊れると鉄骨建築は倒壊してしまう。溶接は、一番重要な部分を担っていることは言うまでもない。この溶接技術競技大会を通して、各企業や技能者が溶接への認識を新たにして、技術の研さんと高品質な製品を顧客に提案していただければ幸い」などと述べた。

第52回の溶接競技大会は、6月3日にポリテクセンター山梨で開催され、被覆アーク溶接の部で9人、炭酸ガスアーク溶接の部に21人が出場。

審査の結果、被覆アーク溶接の部5人、炭酸ガスアーク溶接の部で12人が入賞した。また、企業表彰として飯田鉄工に県知事賞が贈られた。

被覆アーク溶接の部で通算5度目の優勝を果たした田中選手は「優勝はしたものの、自分なりに課題も残った大会だった。全国溶接技術競技会に向けて上位に食い込めるように今大会でうまくいかなかった部分の練習などに励んでいきたい」と抱負を述べた。

入賞者は次の通り（敬称略、優勝は県知事賞・日溶協東部地区溶接技術検定委員会委員長賞・産報出版賞、準優勝は山梨労働局局長賞、3位はポリテクセンター山梨所長賞を受賞。4位以下は省略）

【被覆アーク溶接の部】▽優勝＝田中正文▽準優勝＝齊藤光司（飯田鉄工）▽3位＝永長暁羽（同）▽4位＝藤原由博（山梨建鉄）▽5位＝小嶋大河（キトー）

【炭酸ガスアーク溶接の部】▽優勝＝吉永光一郎▽準優勝＝中澤由起也（キトー）▽3位＝及川祐輔（八田製作所）▽4位＝一之瀬詠治（飯田鉄工）▽5位＝飯田匡史（宮入バルブ製作所）▽6位＝長沢一輝（飯田鉄工）▽7位＝佐野翼（住吉鉄工）▽8位＝保坂泰成（キトー）▽9位＝丸山俊（山梨建鉄）▽10位＝佐田敏章（櫻本鉄工）▽11位＝チャン・ヴァン・コア（住吉工業所）▽12位＝矢野捺美（山十産業）

入賞者らによる記念撮影

入賞者16人の栄誉讃える

千葉県溶接協会

千葉溶接協会（廣田二郎会長）は、9月12日に千葉市中央区のオークラ千葉ホテルで第49回溶接技術競技会の表彰式を開催。

優勝の牧野明選手（被覆アーク溶接平板の部、山九千葉支店）、清水康貴選手（被覆アーク溶接管の部、山九君津支店）、三浦努選手（炭酸ガスアーク半自動溶接の部、日鉄テックスエンジ君津支店）をはじめとする16人を讃えた。

冒頭、廣田会長は「優秀な成績を収めた選手は、自身の技術を誇り、その技術力を自社に還元し後輩に継承してほしい。また、全国大会で40年ほど千葉県からは優勝者が出ていない。優勝旗を持ち帰ってきてほしい」と述べると共に、風15号で停電害にあった人「身の安全を切に願う」と述べ、一刻も早く葉を残した。

彰式では各人1人に声を

を讃えた。

各入賞選手どが手渡され審査委員長を田満千葉県術研究所所技講評が行わ彰式全行程が優勝3選手は に競技の感た。

牧野明選手となる出場わらず緊張えた。自社で会でも思うが出せずに、